

香道体験会

初春

の香りを
楽しむ

本格的な香木の香りを、初心者の方でも
楽しむことができるイベントです。
雅な世界を体験してみませんか。
今年は「水鳥香」を行います。

平成31年

1月20日(日)

4回のうち参加ご希望の回をお選び下さい

- ① 10時～ ② 11時～
③ 13時～ ④ 14時～

要予約/各回20名

☎(0952)23-4200

◇参加費: 2,000円(小学生以下は 1,000円/抹茶付)

◇お点前: 志野流香道九州松隠会 梶島禪徹先生と佐賀香遊会の皆さん

◇事前予約が必要。参加ご希望の方は、電話(23-4200)・メール等にてお申込み下さい。

◇雅な遊びを楽しめる装いでお出かけください。お着物でのご参加は大歓迎です。



徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA



お香とは

仏教とともに中国大陸から日本にもたらされた「香」は、やがて室町時代に「香道」として成立しました。「源氏物語」にちなんだ「源氏香」という遊び方があるように、香道は文学や茶道などの諸芸能と結びつきながら発展します。そして江戸時代には、鍋島家などの大名家にとっても欠くことのできない文化のひとつとなりました。

これにちなみ、徴古館では毎年正月に、本格的な香木の香りを体験できる「初春の香りを楽しむ」を開催しています。



鍋島家とお香

多くの大名家と同様に、江戸時代に36万石を有した大大名のひとつである佐賀藩主鍋島家にも、初代藩主鍋島勝茂公の香炉や香盆、2代藩主鍋島光茂公継室榮正院の香箱、10代藩主鍋島直正公の香合や夫人の香割道具などといった香道具の数々が伝わっています。

また「雨申の伽」という記録には、9代藩主鍋島齊直公の時代に佐賀藩士香田利兵衛が大坂で志野流の師匠に入門したことが記されています。



水鳥香

今年の組香(志野組香三十組の内)

香道には、異なる種類の香りを聞き分ける「組香」という遊び方があります。たとえば、「源氏香」「四季香」「七夕香」など、季節や名所、文学作品などの風情を取り込み、香りを楽しむものです。

徴古館の「初春の香りを楽しむ」では、初春にふさわしい組香を毎年行っていますが、今年は「水鳥香」という組香を行います。

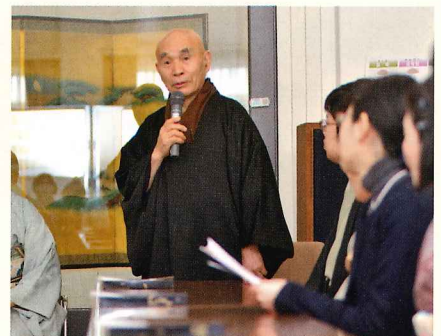
水鳥香は、和歌に詠まれた「鴨」「鳩」「鶯」の水鳥に当てはめられた3種類の異なる香りを聞き当てるものです。皆さまのお席には、「鴨」と「鳩」の2種類の試香のあと、香元から炷き出された香炉が1つ廻ってきます(出香)。心を落ち着けて香りを聞き、3種類のうち、どの香りが廻ってきたのか、自分の答えを記紙に書きつけ、最後に答え合せを行います。この組香では、早春の川面に浮かぶ水鳥の可愛らしさと、その光の中で遊ぶ情景を香りで楽しみます。



山形に整えた灰の上に「銀葉(ぎんよう)」という薄いプレートが敷かれ、その上にのせた香木がほのかに香ります。佐賀香遊会の方々による美しい所作も見どころです。



試香では、2つの香炉が順番に廻ってきます。静かな心で香りに意識を研ぎ澄ませると、非日常の贅沢なひとときです。



香道の歴史や遊び方、香炉の取り扱い方など、梶島禅徹先生(志野流香道九州松陽会)が分かりやすく解説して下さいますので、初心者の方もご遠慮なく。

鍋島家の奥方・姫君の所用品も公開

当日、1階展示室では10代佐賀藩主鍋島直正公の奥方がお持ちになられた香割道具や婚礼調度、長女・貢姫の手製の作品などもご覧いただけます。



村梨子地葵紋散裝唐草蒔絵沈割箱 江戸時代後期 盛姫所用



萌黄地御所解文様小袖 江戸時代後期



紅梅に鷹様紙拵 江戸時代後期 貢姫作



交通アクセス | 無料駐車場あります

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分
- 佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ |
 info@nabeshima.or.jp
 http://www.nabeshima.or.jp
 (0952)23-4200 (公益財団法人鍋島報効会)

